

パリ五輪の新種目「ブレイキン」とは？

音楽に合わせてアクロバティックに跳んだり、回ったりする「ブレイクダンス」の技術を競う種目です。

発祥は1970年代のアメリカと言われ、個人戦やチーム戦がありますが、チーム戦も1対1ずつ戦います。特徴的なのは「音楽担当のDJ」と、「進行役のMC」がいることです。

音楽は選手に知らされず、DJがその場の雰囲気曲を選び、選手は交互に**即興で踊ります**。MC担当がトークで会場を盛り上げ、複数の審査員がダンスの出来栄を判定します。

2018年、ブエノスアイレスのユース（14～18歳対象の）五輪で採用され、**国境を越えたダンスと音楽**が多くの観客の心をつかみ、パリ五輪の実施が決まったと言われています。

ブレイクダンスのダンサーはブレイカーと呼ばれ、女性をBガール、男性をBボーイと呼びます。

